

# 子供の衣服

衣服は生活上、一日も缺くべからざるものにして、之が裁縫の如何は、舉動を活潑ならしむる上にも、容儀を整頓する上にも、影響すること多大なるは、人々の熟知する所なり。されば我等は、宜しく其便益なる方法を研究すべきや、言を俟たざるなり。殊に幼児は、間斷なく成長しつゝあるものなれば、之に對しては十分なる注意を加ふるにあらざれば、其發達をさへ妨ぐるに至るべきを以て、今茲に幼児服に付て記さんとす。

四五歳より十一二歳の間に用ゐらるゝは多く四ツ身にして運動の自由を計るが爲に袖は筒袖を可とす。

## 四ツ身單衣

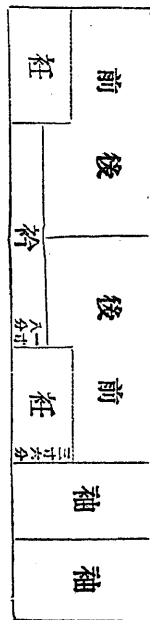
### 一、積り方

用布 並幅一丈四尺(半反)

$7 \times 4 = 28$        $140 - 28 = 112$        $112 \div 4 = 28$

### 一、裁方

身 丈



### 一、寸法

袖丈 六寸五分

袖口 四寸

袖幅 七寸五分

袖付 五寸

後幅 六寸五分

前幅 五寸

衿幅 三寸三分

衿下り 三寸五分

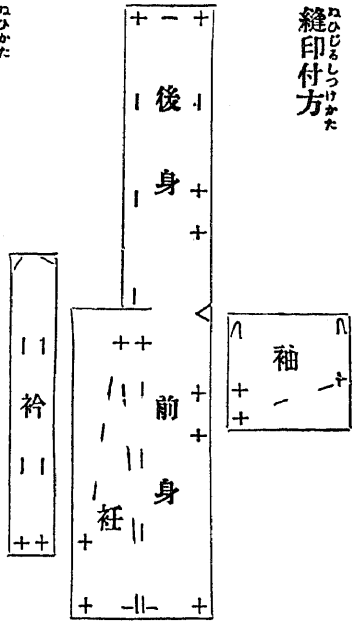
襦下 八寸

衿幅 一寸一分

脇明 七寸五分

身丈 有丈

一、縫印付方



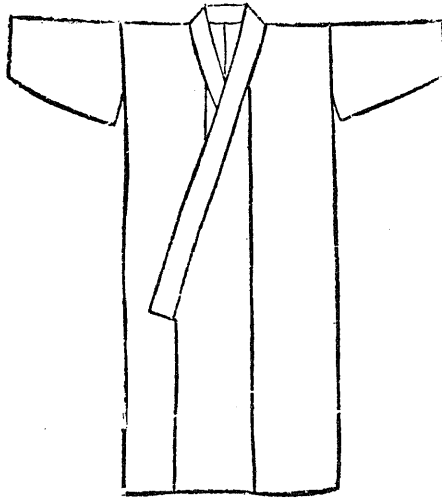
一、縫方

先づ左右の袖下を斜に縫ひ折りは左右へ割り一分計り裏の方へ折り縮け付くべし袖口は巾一分位に三つ折縮をなす、次に襦下を縮け次に脊を表の方を見て一分の縫代に縫ひ之を返して裏より普通の縫代をと

りて袋縫をなす其折り目は衿肩を右にして自分の方に付くべし、次に脇縫をなし八ツ口の處には止めをして返し置くべし折り目は前身頃の方へ返すべし次に衿は下の縫代二分上は七分につまみて一方は上より一方は下より縫ひ折りは衿の方につくべし次に裾縮は巾二分五厘位に三つ折にして縮けつくべし次に表衿に裏衿を縫ひ付け折りは裏衿の方へ返し裏をかき而して後に脊縫より針を打ちて左右へ衿を付け下ろすべし折りは衿の方へ返す衿先は一分計り内を縫ひ裏の方へ折りを付け三つ衿には切れを入れて縮け付け之を終りたらば前の袖をとり縫ひ付くべし八ツ口は二ツ折縮の如く綴ち付くべきなり。

注意 八ツ口を全く縫ひ付くるは空気の流通を止め衛生上宜しからず且つ脇明少きに過ぐるときは紐付も從て高くなり胸部を壓迫す

(のもるたげ上立仕)



るに至るを以て二寸五分位は開き置くこと  
最も必要なり

學 術

鶴 龜 の 話

岩川友太郎



世俗に鶴は千年龜は萬年てふ諺ありて古來賀儀祝壽  
の席には或は繪畫とし或は飾物として之を尊び用ふる  
風習あり彼等は果して能く斯の如き長壽を保ち得るや  
否やそは壽老人其人ならで之を知るに由なからんも彼  
等は如何なる動物にして何處に棲息するか如何なる生  
活をなすか又社會に對して如何なる利害を有するかに  
就て余は聊か述べんと欲するなり

鶴は昔より之を靈鳥とし世人の尊重する鳥にして或  
は繪に描き或は衣服器物等に繪模様として用ふるが故